

諸教育の充実

- 【教育計画の整備充実】
- ・総合的な学習の時間とキャリア教育の連携
  - ・「考える道徳」「議論する道徳」への転換
  - ・信州型UDの推進
  - ・特別支援教育(通常学級、特支学級)の取組
  - ・防災安全教育
  - ・人権同和教育
  - ・生徒会活動
  - ・部活動
- 等

《佐久市学校教育の目指す子ども像》

夢や希望をもって輝き、ともに生きる子ども

《学校教育目標》

「志高錬成」

～志を高く持ち、よりよい成果を得るために、ねばり強く自分を鍛える～

(目指す生徒像)

- 明るく豊かな生活を創り上げていく生徒
- 自分の考えを主体的に追究・表現する生徒
- 仲間の良さから学び、互いに高めあう生徒

郷土と歩む

- ☆信州型 CS を中核とした学校づくり
- ・浅科小・中 CS 推進委員会
- ・小中連携(小中職員会授業参観・生徒会)
- ・外部講師の活用
- ・学習ボランティア
- ・中山道宿場太鼓
- ☆総合の日(地域体験学習)
- ☆地域の方との懇談会

＜重点目標＞

他との関わりを深め、表現できる生徒の育成

～「ひと・もの・こと」との関わりを通して、自己のあり方を見つめさせる指導と支援～

重点指導 1

《「認め合い・支え合う集団づくり」の推進》

- ・水曜日午後の共に活動する時間「浅科タイム」の活用。生徒会活動・学級活動を実施し、充実を図る。
- ・「共に関わる時間」を意識した授業の展開。「関わる場」を位置づけることで、表現活動を含めたメリハリのある学習活動の推進。
- ・アセスを活かした学級経営。結果を学級経営に反映させる。研修の継続と生徒理解の手法として活用。

重点指導 2

《学力・表現力向上への取組》

- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善と3観点評価の推進。
- ・教科性をいかした表現力・読解力を高める取組。
- ・各学年の CRT と全国学調を分析し、授業に反映。
- ・重点教科を決めだし、授業を公開して授業改善の方向の明確化。
- ・全職員で ICT を活用した授業を実践し、「見合う授業」による授業力の向上。

重点指導 3

《生徒指導体制の充実》

- ・「生徒へ寄り添い」をキーワードに、情報共有やチームによる支援体制の確立を進める。
- ・「連携」をキーワードに据えた欠席者の長期化対応。いじめ不登校 Co と生徒指導主事を中核とした支援の推進。
- ・「定期副担任者会」の位置づけにより、生徒変化の前兆を把握し、予防的対応。
- ・発達支援、及び特別支援教育に関する研修の充実。

重点指導 4 《凡事徹底…自立する心の育成へ向けて、授業に集中できる環境づくり》

- 「挨拶」…明るい挨拶を通して、心のネットワーク作りの推進。挨拶の交わし合える学校づくりの取組。
- 「歌声」…仲間との協調性を通して、合唱のよさを体感する歌声の響く学校づくりの推進。
- 「清掃」…自らの手で環境を整え、清潔で気持ちのよい学校づくり。温かさや優しさの感じる学習環境。
- 「食事」…五郎兵衛米を代表とする地域食材を食することで、先人・生産者への感謝を忘れない学校。

教師としての資質の向上

- 素材研究・教材研究・教科研究・グループ研究・全校研究等を通して、授業力向上を目指す教師
- 子どもに寄り添い、子どもの声を聞き取り、生徒と共に歩む教師
- 服務規律の厳守・綱紀肅正に努め、教職公務員としての重責を認識し校務に臨む教師